

ベトナム情報レポート（2023年12月31日）

ベトナムビジネスサポートデスク
（株式会社NCネットワーク）

【ベトナム国家主席の日本訪問】

11月27日～30日、ベトナムのヴォー・ヴァン・トゥオン国家主席が日本を訪問しました。トゥオン国家主席は、青年交流事業のためにこれまで3回日本を訪れていましたが、国家主席就任後は初来日となります。

11月27日、トゥオン国家主席は岸田首相と首脳会談を行いました。両首脳は日越関係を「アジアと世界における平和と繁栄のための包括的戦略的パートナーシップ」に格上げすることに合意し、両国のあらゆる分野における協力関係をさらに強化することを確認しました。経済分野では、両国の経済連携をさらに強化するとともに、経済安全保障関係を促進し、イノベーションや技術移転、DX、GXといった新しい分野での協力拡大に合意。岸田首相は、2045年までのベトナムの先進国入りを目指して、日本は引き続きベトナムの工業化、現代化、独立経済の構築と国際舞台への参入などをサポートすると表明しました。トゥオン国家主席は岸田首相に対し、高度人材教育における協力とともに、ベトナム人に対する日本入国手続きの緩和と迅速な電子ビザ、マルチビザの発給、将来的なビザ免除を要請しました。会談後、両首脳は日本の宇宙航空研究開発機構（JAXA）とベトナム宇宙センターとの間で締結したベトナム向け地球観測衛星「LOTUSat-1」の開発協力を含む、各分野での両国間の協力協定の締結式に立ち会いました。

11月29日、トゥオン国家主席は日本の国会で演説し、「日本とベトナムの関係は1000年以上の歴史があり、両国の民族には多くの共通点がある。両国の関係はいわば『宿命のパートナー』である」と表現しました。また、現在日本がベトナムにとって労働者派遣先第2位、投資・観光分野第3位、貿易関係第4位のパートナーであること、国防・安全保障においてもますます連携が強化されていると発言。さらにベトナムの困難な時期を日本のODAがサポートし、現在もベトナムの発展において重要な役割を果たしていると強調しました。

同日、トゥオン国家主席は福岡県を訪れ、福岡県知事をはじめとする九州各県の知事と面会しました。国家主席は九州企業の対ベトナム投資（特に製造加工、スマート農業、廃水処理など）の促進を提案するとともに、ベトナム人技能実習生や労働者の受け入れや人材育成への協力を要請しました。